

Sustainable Report No.086

サブスク利用で SDGs貢献を

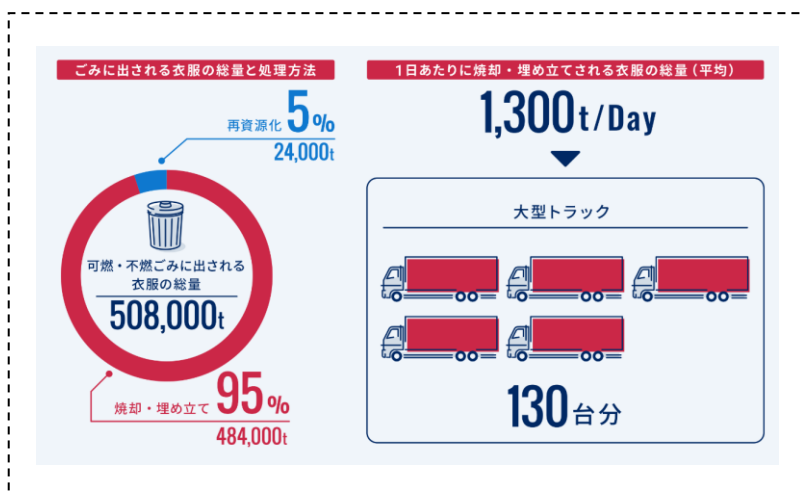


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

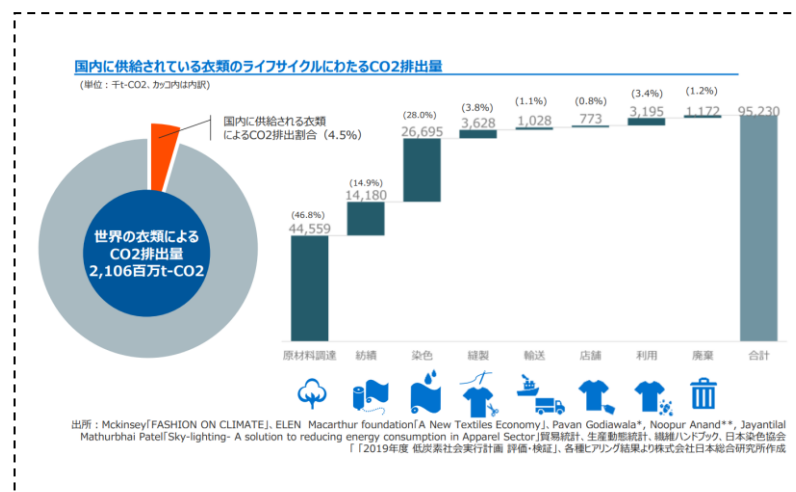
- **衣類の国内供給のために排出されるCO2は95百万トン**と推計され、世界のファッション産業のCO2排出の4.5%に相当する。
- 廃棄段階においては、可燃・不燃ごみに出される衣服の内、**95%が焼却・埋立処理**されている。
(2020～2021年 環境省による調査)
- CO2排出による環境汚染が問題になったことにより、**リサイクル・リペアの意識**が昔よりも高まっている。

■ ごみに出される衣服の総量と処理方法



出典：環境省

■ 国内供給される衣類のCO2排出量



出典：環境省

▶NEXT：無駄な生産・廃棄を減らすためのサブスク

■ 実行者／解決方法／残る課題

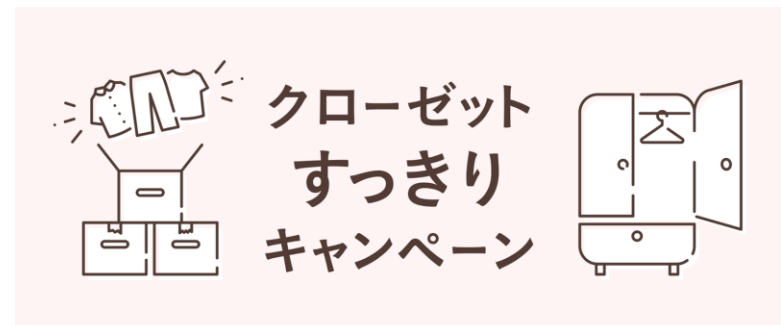
- 2014年に東京で設立された株式会社エアークローゼットは服のレンタルサービスを行う。「SDGsは努力から当たり前に取り組むものへ」という考えのもと、アパレル廃棄ゼロを実現に取り組む。
- 2019年に実施した宅配買取りサービス『クローゼットすっきりキャンペーン』は、ブランド中古品買取のブランディアとコラボ。不要になったものを簡単に査定・売却できる。
- 既存客の満足度向上にとどまり、新規会員の登録増加など短期的に得る利益、延長や継続、定期開催には至らなかったのではないかと

■ 複雑化するユーザー/ブランドの関係性



出典：株式会社エアークローゼット

■ クローゼットすっきりキャンペーン



Brandear × airCloset

出典：株式会社エアークローゼット

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 店頭で不要品を持ち込む面倒さや入金までに時間がかかることから、**売却意欲がある人を新たに顧客に取り込む必要**がある。
- 利用者にとっては簡単にすぐに換金できること、事業者にとっては**物をもたせずシェアを活発化させる**ことが理想である。
- 特定ブランドの店頭回収（無料引き取り、クーポン配布）に加えて、**店頭レンタル**もできるようになるといいのではないかと。

■ リユース+リサイクル



出典：株式会社エアークローゼット

■ シェアクローゼットの仕組み



出典：株式会社エアークローゼット

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 環境省, 「SUSTAINABLE FASHION これからのファッションを持続可能に」, 2022年12月27日参照
(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)
- 環境省, 「環境省 令和2年度 ファッションと環境に関する調査業務-「ファッションと環境」調査結果」, 2021年3月日
(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/goodpractice/case25.pdf)
- 株式会社エアークローゼット, 「2023年6月期 第1四半期 決算説明資料」, 2022年11月14日
(<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9557/tdnet/2207090/00.pdf>)
- 株式会社エアークローゼット, 「クローゼットすっきりキャンペーン」, 2019年12月2日
(<https://corp.air-closet.com/news/press-release/191202/>)
- 株式会社エアークローゼット, 「エアークローゼットSDGs推進」, 2022年12月27日参照 (<https://corp.air-closet.com/sdgs/>)
- 株式会社エアークローゼット, 「シェアークローゼット」, 2022年12月27日参照 (<https://corp.air-closet.com/share-closet/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。